



## 松原市セーフコミュニティ 災害時の安全対策委員会よりお願い ～タオル運動・両隣声かけ運動にご協力を～



松原市では、真の協働とより安心・安全なまちを目指して、WHO（世界保健機関）連携機関が推進するセーフコミュニティに取り組んでいます。

セーフコミュニティ『災害時の安全対策委員会』では、阪神淡路大震災や東日本大震災などを教訓として、高齢者等災害弱者の逃げ遅れによる被害をいかに防ぐかについて検討を重ねてまいりました。

その結果、迅速な安否確認作業が必要であると考え、タオル運動と両隣声かけ運動を全市的に展開していきたいと考えています。

### タオル運動

この家には救助を必要とする者はいないということを示すために、玄関や門扉など外から一目でわかる場所にタオルをくくりつける運動です。以下のように、タオルをくくりつける、挟み込むなどしてください。

【タオルのくくりつけ位置について、例をご紹介します】



### 両隣声かけ運動

避難する際に、自宅の両隣にも、『無事ですか？一緒に避難しませんか？』と声をかける運動です。無事が確認できれば、タオルをくくりつけて、この家は無事である意思表示をしてあげてください。非常時持ち出し袋にはタオルを**3本**ご用意ください。（無事が確認できたら両隣の家にもくくりつけてください。）

### 《いざという時の行動の流れ》

①まずは、自身の身の安全を確保 ⇒ ②家族が無事であれば、タオルをくくりつける  
⇒ ③両隣に声をかけて、安否を確認 ⇒ ④無事ならタオルをくくりつける、救助が必要なら、  
地域に応援を求める ⇒ ⑤速やかに避難する（自宅が無事なら、そのまま待機する）  
（災害の程度にもよりますが、3日間ほどタオルはそのままにしておきましょう）

☆この2つの運動を全ての市民が実践することで、少しでも多くの生命を助けることができると思っています。どうぞ、皆様のご協力をお願いします。